

染井

えっと…ほ、本日はお日がらもよく…

一宮

先生、別に結婚式じゃないですから

染井

あ、そっか…じ、じゃああととは若い二人で…

田口

ちよっと！どこ行こうとしてんの、先生からも言ってるよ、この堅物

メガネに！

一宮

誰が堅物メガネだって？

田口

お前だお前！ねえ先生イ〜このままじゃアタシの学園祭がこいつのせい

セピア色に染まっちゃうよ！

一宮

私だけじゃない、学園祭実行委員の全員合意です。

染井

えっと、これなんの話だっけ？

田口

だあから！アタシの全米待望のワンマンロックライブ in 学園祭だよ！先生に許可印もらったじゃん

一宮

まったく、とんでもないものに印押ししてくれましたね

染井

うーん、私結構色んな団体からハンコ頼まれるからどれがどれだったか…

一宮

勘弁してくださいよ、先生がしようもない企画にホイホイ印押しせいでど

れだけこっちの仕事が増えたか

染井

ごめんねえ…

田口

ちよいちよい！そんなジミー先生の羽毛より軽いハンコで出された企画案

どもとアタシのワンマンライブ一緒にすんな！

染井

羽毛よりは重いんじゃないかなあ。あとジミーじゃなくて染井ね？

一宮

誰がシミイ先生のハンコと他の生徒たちの貴重な意見を一緒になんかする

かっての。あんたの案は正当に判断して即却下よ。

染井

うん、シミイじゃなくて染井ね。染めるに井戸の井だから。ていうか何気

に一宮さんのほうが失礼だよ

田口

なんでよおう、アタシの眠れる才能がやっとなんか開花するんだよ？

田口 これを一人でも多くの奴に目撃させてやりたいじゃんか
一宮 眠らせておいていただけですか、永遠に。
田口 そんな冷たいこと言わないでよ、ね？アタシとあんたの仲じゃんか
一宮 どんな仲よ。
田口 それは…ここではちよっと…
一宮 なんてよ、幼なじみ以外の何物でもないわ
染井 あ、幼なじみなんだ
一宮 ええ、この企画案みた瞬間激しくそれを否定したくなりましたけどね
田口 もー、心配しないでいいんだよ。アタシがどんなに有名になっても、あた
しらの絆は永遠だ・か・ら！
一宮 安心して、私が心配なのはどうしたらあんたとの腐れ縁を叩き切れるかだ
けだから。
田口 かわいくないなあ、素直になりなよ
染井 だめだよ田口さん、これはツンデレっていう立派な愛情表現なんだから
一宮 先生、黙りやがって頂けますか
染井 すみませんでした
田口 しょうがないな、じゃああんたにはセンターの席取っというあげろ。あー
一宮 あー、ファンには平等に接するがアタシのモットーなのになあ
田口 誰が誰のファンだって？
一宮 一宮さんが、アタシの☆
田口 大いに違う。まったく違う。断じて違う。
染井 え…まさかあんた、アタシにファン以上の感情を…
一宮 禁断の恋だね！じゃあ私週刊誌の記者役やります！
染井 先生、黙りやがって頂けますか
一宮 すみませんでした

一宮

大体あんたの歌なんか人様に聞かせられるわけないでしょ。

田口

なんでよ！この声は神が与えた奇跡だよ！

染井

えーと、もしかして田口さん音痴なの？

一宮

音痴どころじゃないですよ。幼稚園のおゆうぎ会ではこいつが歌った瞬間

に園児が全員眠ったし

染井

子守唄！？

一宮

小学校の遠足で山登り中に歌ったら方位磁針が狂ったし

染井

磁力！？

一宮

中学生の時の合唱祭で歌ったらその一年男子の声変わりが平均二カ月早く

なっただんですよ！？

染井

それは！……なんで分かったの？

田口

とーにかーく！アタシはやる！やるったらやる！

一宮

だめだったらだめ。学祭開催理念は学園の成長と協調の発表です、成長以前

に存在の不可解なあんたの歌を協調も何もないワンマンライブなんて出来

ません。分かったらさっさと諦めてよね。

田口

くっそーこうなったら実力行使だ、表出ろ！

一宮

この際やむをえないわね、力づくで止めてやる！

染井

まあまあ、ハンコ押した私が言うのもあれだけど、田口さんもせっかくの

学園祭にワンマンはさみしいじゃない。

田口

そりゃあ一人は大変だろうけど、でも皆にアタシの歌を聴かせるっていう

天から与えられた使命がさあ……

一宮

あんたそれ以上口を開かない方がいいわ。笑いを通り越して戦慄を覚える

じゃあ、私が顧問してる部活の一つに軽音があるの。そこでボーカル募集

してるバンドがあったと思うから今回はそこで腕試しってことでどうかな？

田口

うおおお！ジミー先生！マジ神！

一宮

ちよつとシミイ先生、何勝手なこと言ってるんですか！

染井

ほら、軽音の発表は学祭の開催理念には沿ってるから他の委員にも言い訳が立つし、一宮さんは野外発表団体が管轄でしょ？ここからは管轄外だね。

一宮

な…そんな…

田口

やーいやーい、誰もアタシの魂の歌を止めることはできないんだよーだ！

一宮

アタシが歌おうがリンボーダンスしようがあんたには関係ないの！

田口

私は別に…あんたが笑いものになるのは見たくないと思つて…

一宮

え？なによ、文句なら聞こえるように言えつつの、アタシが何？

一宮

うるさい！もうあんたなんか知るか、歌でも逆立ちでも好きにやれば！どうせ私は関係ないんで！

田口

なんだよお、そんなに逆ギレすることないじゃん

一宮

もういい、金輪際あんたなんか知らない、好きにすれば。私もう行く。

田口

おい、まてつて、…待て一宮！言い忘れてた！

一宮

…なによ

田口

アタシの初ライブのセンターはちゃんと取つといてやるから、委員会のシフト調整しとけ！

一宮

田口…

田口

アタシは一回言ったことは守る女だ！

一宮

…ふん、誰が行くか、ばーか

田口

くくく、うん、あんたはそういう顔してた方がいい。しよぼくれた顔なんか似合わないぞ

一宮

なつ、しよぼくれた顔なんかしてないもん！適当なこと言わないでよね！

染井

あのさ、楽しそうなどこ悪いんだけど、私からも一宮さんにお願があるの

一宮

染井

田口

染井

一宮

田口

染井

一宮・田口

シミイ先生が私に？なんですか？

今ので屋外発表希望団体枠減ったよね？その分私が今度やるグループを入れてほしいなって。

ジミー先生が発表！？なにやんの？ていうか人前とか立てるの？

ふふっ、じつはね、最近清掃のおばさんたちとこっそり音楽室で練習してるんだ。演歌！

…：はい？

演歌って、あの演歌？

うん！衣装も本格的にしようって思ってたね、とりあえず今は電飾つけて高さ3メートルくらいってとこしかまだ決まってるないんだ。学園祭でこぶしをまわすの、すごくいいと思うんだ！ほら、大人の女の魅力、って感じで！ねえどうかな？

染井先生、却下でお願いします。